

08 ▶ 男女トラブル解決事例

CASE
08

妻の不倫相手に対する慰謝料請求

男女トラブル

事案の概要

50代 男性 会社員

働きに出ている妻の帰宅が遅くなるのが急に増えたため、不審に思った依頼者は妻のスマホを覗いたところ、職場の若い男性と複数回ラブホテルに行ったことが判明しました。

相手の男性に対して、何とかケジメをつけさせたいということで相談に來られました。

解決結果

相手方の自宅が不明であったこと、素性もハッキリせずこのまま相手が職場を辞める可能性があるとのことだったので、直ちに相手の職場に本人限定受取という形で内容証明を発送しました。

相手方に弁護士が就任し、交渉を継続し、今後は一切妻と会わないことを認めさせた上で、50万を一括で支払ってもらう内容で合意が成立しました。

担当弁護士からひとこと

相手の収入が少なく、不貞の期間もひと月足らずであること、こちらが離婚するつもりはないという事情もあったため、裁判になっても100万円を超えるような多額の慰謝料は認められにくい事案でした。

依頼者の気持ちとしても、ケジメとして相手に警告したいという意味合いの強い事案でしたので、自宅が不明の中、内容証明をなんとか相手に受け取らせたいとの考えから、直ちに内容証明を職場に送付することとしました。